

2026 年度 公募制自己推薦(AO 型) ・院友子弟等特別選考 ・外国人留学生 ・

学生入学 ・一般編入学試験

【経済学部】

総合問題

解答例 (解答のポイント)

※公開する解答例には、別解がある場合があります。

問 1

原材料費などの費用上昇分を、販売価格に上乗せして値上げすることで、買い手に負担してもらうこと。

問 2

イ

問 3

イ

問 4

品目名：牛肉

理由：生活必需品というよりは贅沢品であり、普段の価格が高いことが需要を抑制しているから

問 5

ウ

問6

産地リレーとは、時期によって気候の異なる産地から野菜を集荷することによって、年間を通じて野菜の供給を安定させる仕組みのことである。気候の変化などにより通常であれば時期のかぶらない産地同士の出荷時期が重なった場合、通常時よりも供給量が増え市場価格は下がると予想される。

問7

「適正な価格」は農水省の主張であり、筆者はそのような価格の設定は難しい、あるいはそのような価格を設定するだけでは供給は安定しないと考えている。

問8

コメと野菜の両方に共通する理由としては、肥料や農薬、燃料などの原材料の費用上昇があげられる。コメと野菜で異なる理由としては、野菜には貯蔵期間が長くないものがあり、天候次第で出荷時期がきまるため、その時々収穫量が大きく変動し、短期間に価格が上下することがある。コメの場合は、年ごとの豊作・不作の影響を年単位で受けることがあるものの、貯蔵可能であるため、数日・数週間の短期的な変動は起こりづらい。

問9

政府備蓄米の販売は、記録的な米価高騰を受けて、価格の安定を図り、消費者の負担を軽減し、主食を安定供給するために行われた。市場への供給量を増やして、米の価値を引き下げることが目的として行われたが、備蓄米ではないコメの価格も低下すると、農家にとっては収入減となる。今後も価格が上昇した場合に、政策介入により価格が引き下げられる可能性が高まったことで、農家は来年度以降の生産に対して採算のハードルを高く設定してしまったり、生産に対する意欲を失ってしまう可能性がある。